

生成AI機能搭載音声読書器が、生成AI搭載のiPhoneに先駆けて7月登場！

音声拡大両用読書器「よむべえスマイル」「快速よむべえ」に、正確に読み上げるだけでなく、知りたいことを先に教えてくれる生成AI機能を搭載します。

株式会社アメディア

Gemini

クラウド

テクノロジー

バリアフリー

図書館

新聞

生成AI

生活

福祉

視覚障害

障害

● 2024年06月19日 15時40分



この夏新発売の音声読書器よむべえシリーズ"生成AI搭載モデル"は、Google の Gemini1.5の導入により、視覚障害者の情報へアクセスするためのバリアが大幅に低減され、本や新聞、書類、複雑なグラフの入った印刷物までも「読めない」といった課題がほぼ解消され、社会参加の促進にも貢献します！

高精度な文字認識機能を搭載し、数年かけて作ってきた土台

搭載する生成AIの基本メニューは読み取った内容に対して行うもので、土台となる認識精度が重要です。

弊社の読書器よむべえシリーズには、Googleのシステムを利用した高精度な文字認識をするクラウドサービスがあり、翻訳や通帳読み取りが使えるほか、高精度な文字認識「クラウド認識」を搭載しています。

クラウド認識は手書き文字をも読める優れた認識精度を誇り、これまでは難しかった家族や友人との手書きのコミュニケーションを可能にしました。

非常に高い認識精度を有した読書器だからこそ、生成AI機能の結果も非常に満足できるものとなっています。

"わかりづらい"ものを"わかりやすく"する

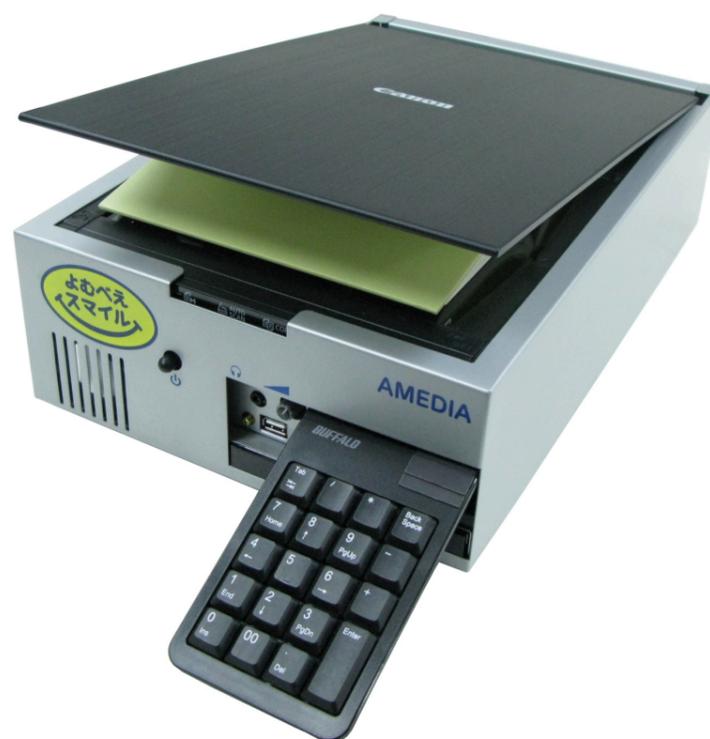
視覚障害者の情報源には複雑なホームページよりも紙媒体を選ぶ方も少なくありません。

新聞もその一つで、今までは記事が入り組んでいるためわかりづらい内容で、聞き手の負担がありましたが、生成AIは、記事のまとめりとごとにわかりやすく読めるようになり、スムーズな情報アクセスを実現します。

また、グラフや画像からも簡単な操作で視覚的な情報を読み取れるようになるため、視覚障害者が新聞や教科書、資料を理解するためによむべえシリーズが今後も大いに役立ちます。

このほか、読み取った内容から気になるワードをその場で生成AIが解説する機能や知りたいことを直接質問することが出来る機能などを用意しています。

こうした目の代わりとなる各機能の高いクオリティを、複雑な情報処理能力を持つ最先端の生成AI Gemini 1.5の採用で実現しました。



生成AI機能を搭載する音声読書器

快速よむべえシリーズ (写真左)

<https://www.amedia.co.jp/product/visual/yk/index.html>

よむべえスマイル (写真右)

<https://www.amedia.co.jp/product/visual/ys/index.html>

すでにクラウドサービスを利用できる対象のよむべえシリーズをお持ちの方へも、アップデートにより機能を提供します。

テクノロジーで障害者の自立支援！

弊社では創立当初から掲げる理念のもと、視覚障害者の利便性とアクセシビリティをさらに向上させることを目指しています。

<取材について>

視覚障害者の福祉機器について、外出やバリアフリーマップ、弊社への取材をお待ちしています。
代表取締役 望月優がインタビューにお答えします。

<リリース元>

株式会社アメディア

〒176-0011

東京都練馬区豊玉上1-15-6 第10秋山ビル

電話：050-1791-2070

ファクス：03-3994-7177

メール：navibiz@amedia.co.jp